



令和7年度

学習の手引き

「主体的・対話的に、深く学ぶ新中生」

年 番

氏名

※この冊子はテスト用ファイルに綴じましょう。

目次

1. 授業の約束
2. 朝学習の進め方
3. タブレット活用のルール
4. 家庭学習の進め方について
5. 目標と振り返り

「学習の手引き」の中には、様々な生徒の活動が出てきます。学習の主役は、生徒の皆さんです。自分たちでできることを、どんどん考えていきましょう。

「主体的・対話的に、深く学ぶ新中生」

- 学ぶことに興味や関心を持とう
- 自己のキャリア形成の方向性と関連付けよう
- 見通しをもとう
- 粘り強く取り組もう
- 自己の学習活動を振り返って次につなげよう

1. 授業の約束

「学習のきまり」

1. 1分前着席をしよう。
2. 学習の準備をして授業にのぞもう。
3. 授業のあいさつを大切にしよう。

「学習の心得」

1. 主体的に授業に参加しよう。
2. 話を聞くときは、注目して聞こう。
3. 自分の考えをもち、伝え合おう。

(1) 生徒の活動：1分前着席をみんなで守ろう！

- ★ 学級役員、班長を中心に授業の準備と着席を呼びかけよう！

(2) みんなで考えよう！

- ★ 主体的に授業に参加するって、どういうことかな？
- ★ 話を聞くときにはどのような姿勢で聞くといいかな？

3. タブレット活用のルール

香取市立新島中学校

一人一台端末（タブレット端末）利活用のきまり

1 使用場所

一人一台端末（以下、端末）は、原則として「学校」と「自宅」で使します。ただし、学習活動に必要な場合に限る、それ以外の場所（図書館等）で使することもできます。その際は、使用場所の通信ネットワークの利用許可や接続方法の確認及び端末設定の調整が必要となることがあります。

2 端末の使い方

- (1) 端末は貸与品ですので、学習目的にのみ使用し、学校から指定された方法以外では使用しません。
- (2) 丁寧に扱ってください。（叩かない、落とさない、強く押さない、ぬらさない、等）
- (3) 端末を持って走ったり、画面を操作しながら歩いたりしてはいけません。
- (4) 次のようなことは故障の原因となるため、行ってはいけません。
 - ☐ 地面に直接置く ☐ ストープの上や炎天下の車内など熱い場所に置く
 - ☐ 磁石を近づける ☐ 湿気の多い場所を使用する ☐ 飲食しながら使用する
 - ☐ 画面を指やタッチペン以外で触れる（鉛筆やシャープペンシルなど）
 - ☐ 紙やペンをはさんだまま画面を閉じる ☐ 水場で使う ☐ 重い物を乗せる
- (5) 原則、端末は本人のみが使用し、端末を他人に貸したり、他人の端末を無断で操作したりしてはいけません。
- (6) データの保存は、一時的なものを除き、原則として「One Drive フォルダ」を利用してください。
- (7) 無断で設定の変更をしたり、アプリケーションを追加・削除したりしてはいけません。

3 家庭で端末を利用するとき

- (1) 端末をカバンに入れる際には、保護ケースに収納し、外部からの衝撃を少しでも軽減するようにしてください。
- (2) 登下校中はカバンから出さないようにしてください。
- (3) 明るい部屋で使用するようにし、画面の角度や明るさを調整したり、目と画面の距離を30cm以上離したりして健康面に気を付けてください。また、休憩をしながら利用し、30分に一度は遠くを見るなど、目を休ませるようにしてください。

- (4) 寝る時刻の60分前には、使用するのをやめてください。
- (5) 使用する時間帯や時間、場所は、家族とよく話し合って決めてください。
- (6) バッテリーの残量に注意しながら、必要に応じて学校から指定された充電アダプターで充電してください。

4 個人情報保護のための留意点

- (1) ひとつひとつの端末にはフィルタリング制限（有害サイトの閲覧制限等）がかけられていますが、家庭でも学習目的にのみ使用し、学校から指定された方法以外では使用してはいけません。
- (2) 違法・有害情報サイトに入ってしまったたり、意図しない表示が出てきたりしたら、すぐに使用をやめて、先生や家族に相談するようにしてください。
- (3) 他人を傷つけたり、嫌な思いをさせたりすること、また、それにつながる危険性が予想される内容を、インターネット上（SNS等含む）で書き込みをしてはいけません。
- (4) 勝手にカメラで人を撮影したり、人の家や持ち物を撮影したりしてはいけません。どうしても撮影しなければならないときは、必ず許可を得るようにしてください。録音・録画についても同様です。
- (5) 自分や他人の個人情報（名前、住所、電話番号、メールアドレス、写真、アカウントID、パスワード等）は大切にし、むやみに第三者へ教えてはいけません。インターネット上に一度流出した個人情報は、取り戻すことはできません。
- (6) インターネット上には、違法サイトや有害情報サイト、個人情報を盗み出そうとする悪質なサイトがあります。ファイルのダウンロードやURLのアクセス等についても、コンピュータウイルス感染等の危険があるので、信頼性を慎重に見極める必要があります。

5 不具合や故障、トラブルが起きたとき

- (1) 端末やインターネットが使えなくなり、電源を入れ直しても元に戻らないときや、破損・故障・紛失・盗難と思われるとき、インターネット上のトラブルが発生したときは、速やかに学校へ連絡をしてください。
- (2) 端末が破損した場合、原則として、市で修理費を負担します。しかし、使用時の状況（紛失等も含む）によっては、費用を家庭で負担してもらうことがあります。前述した端末の使い方を参照し、丁寧に扱ってください。

インターネットの利用禁止時間

毎日午後10時から翌日午前6時までは、フィルタリングソフト「i-FILTER」の機能により、一人一台端末からのインターネット接続が無効となります。

新中生徒みんなで考えたタブレット使用のルール

1. タブレットの保管について

- (1) 授業が終わったら、速やかにP Cルームに戻そう。
★教科員、班長は呼びかけ
- (2) 保護ケースなどのアクセサリ類はP Cルームの決まった場所に保管しよう。

2. 休み時間の使用について

- (1) 必要な時は、担任の先生に使用目的を伝え、許可をもらってから使おう。
- (2) 自分の教室で、先生がいる時に使おう。
- (3) 使い終わったら、速やかにP Cルームに片づけよう。
【使用目的】 授業の課題を進めるなど

3. 授業中の使用について

- (1) 休み時間の間に、Teams 等を起動させておこう。
- (2) 先生の指示があるまで、タブレットは机の中にしまっておこう。
- (3) 授業と関係のないことをしないよう、生徒同士で呼びかけをしよう。

4. 家庭での使用について

- (1) アダプターは学校においておくので、充電がなくならないように気を付けよう。
- (2) 次の日タブレットを忘れないように、使い終わったら必ずかばんにしまおう。

5. ルールが守れない時は・・・

- (1) 学級で話し合いをして、みんなで対策を考えよう。

6. その他

- (1) 部活動や委員会で使用する場合は、担当の先生の許可をもらう。
- (2) 新しいルールが必要なときは、評議員を中心に話し合いをしてみんなで考えよう。
- (3) デスクトップの画像や、T e a m s のアイコンを変更しないようにしよう。

4. タブレット持ち帰り学習について

◆家庭学習での活用

- ・eライブラリの自由学習
- ・教科で出された課題（長期休業中に課題が出ることもあります
調べ学習、レポートや発表資料の作成、音読練習等）
- ・デジタル教科書（まなびゅーあ等）を使っでの予習、復習

生徒の活動：月曜日の朝の会

★ 放送委員は、タブレットをコンピュータ室へ戻すように呼びかけましょう。

5. 家庭学習の進め方について

学習時間（目安）

1年生 1時間以上
2年生 2時間以上
3年生 2時間半以上

部活動引退後は、
目指せ！3時間以上！

（1）家庭学習、いつするの？

家庭学習の時間を確保するためには、時間の使い方が大切です。帰宅してからの時間を有効に使いましょう。

- ① 帰宅→食事前（30分）→食後（1時間半）
- ② 帰宅→食後（1時間）→就寝→起床（30分）

＊生活リズムに合わせた学習スタイルをつくりましょう。

生活習慣チェック①

- 生活調査 5/16（金）～5/22（木）
- 範囲表配付 3年：6/2（月） 1・2年：6/5（木）
- 定期テストⅠ 6/20（金）

生活習慣チェック②

- 生活調査 10/24（金）～10/30（木）
- 範囲表配付 3年：10/17（金） 1・2年：10/29（水）
- 定期テストⅢ（3年生）11/31（金）（1・2年生）11/12（水）

（２）家庭学習、何をするの？

家庭学習で何をやればいいのかわからない！そんな時は、次のページから始まる各教科の家庭学習メニューを参考にしましょう。すぐにできる内容が載っています。自分に合った勉強方法がわからないときは、学級担任の先生や教科担任の先生にいつでも相談してください。

国語 Japanese

1. 普段の予習・復習

(1) 予習

- ① 作品：教科書の作品を読み（古典は音読）、大まかな内容を捉える。
- ② 語彙：教科書の作品の漢字や語彙でわからないものは調べておく。

(2) 復習

- ① 内容：その日学習した内容について、ノートや学習プリントを読み返す。理解できていないところは次時に質問をしてわかるようにする。
- ② 漢字：漢字プリントの漢字を読めるように書けるように漢字ノート等に練習する。意味のわからない熟語は辞書で調べて確認する。
- ③ 文法：eライブラリの練習問題を解く。
- ④ 音読：古典の作品は必ず音読をする。
ポイント・歴史的仮名遣いを正しく読める。
・漢文の返り点を正しく理解する。

2. eライブラリを使ってみよう

(1) 自由学習→自分で選ぶ→単元から探す

- ① 解説：読んで内容を理解する。
- ② ドリル：練習問題を解く。
- ③ テスト：まとめの問題を解く。
- ④ いろいろカード帳：単語の練習。 ※④がないこともあります。

(2) ライブラリ（トップ画面の一番下にあります。）



いろいろカード帳：漢字や熟語、語彙、古典の基礎知識を身に付ける。

3. 単元テストに向けた学習の仕方

(1) 教科書：作品を読み込む。※古典は必ず音読する。

【文学的文章】登場人物の心情や主題を捉える。

【説明的文章】文章構成、問題提起に対する筆者の主張を捉える。

- (2) ノート・学習プリント：学習課題の振り返りを行う。
- (3) 漢字や語彙：教科書に出てくる漢字や語彙を覚える。
※意味がわからないものは必ず、辞書で確認しておく。
- (4) 漢字：正しく書けるように練習する。

4. 定期テストに向けた学習の仕方

- (1) 単元テスト復習：間違えた問題は答えを見ないで解けるようにする。
※ あとは、単元テストに向けた学習の仕方と同じです。

5. 新聞や本を読む

・教科書以外の文章を読むことも国語力を付けるためには必要です。図書室の本を借りたり、気になる新聞記事を読んだりしましょう。

新聞の読み方

- ① 一面のトップ記事の見出しやリード文（要約している文）を読む。
※入試には時事問題も出題されます。世の中の出来事に目を向け、それを文章で読むことが大切です。
- ② いろいろな紙面にざっと目を通し、気になる記事を見つける。
※新聞には、政治、経済、国際、文化、科学、スポーツ、暮らしについて様々な記事が掲載されています。見出しを見て気になる記事を読んでみましょう。
- ③ コラムを読む。
※一面にあるコラムを読むと文章を読む力がつきます。短時間にさっと読む練習をしましょう。

家で購読していない人は、L-Gate に各新聞社のアプリがあるので、タブレット端末を活用しましょう。

読書の仕方

学校でも 10 分間の読書の時間がありますが、家でも読書ができるとよいでしょう。特に春休みや夏休み、冬休みなど長期の休みを有効に使い、読書を充実させましょう。

マンガや雑誌以外、どんな本でもよいですので、1冊を最後まで読みましょう。途中で「ちょっと思っていたのとは違うな。」と思ったら、違う本に移ってもかまいません。ステキな本と出会い、友だちと読書交流ができるとさらによいでしょう。

また、新島中学校では全校ビブリオバトルが開催されます。「これは面白い。ぜひ読んでみてよ。」と紹介できるような本と出会ってください。

数学 Math

1. 普段の予習・復習

(1) 予習

- ① 読む : 教科書を読んでおくと、授業内容をスムーズに理解できます。
- ② ワーク: 予習する場合は、自主学習ノートを作成し、行いましょう。
書き込むのは、授業後の復習のときに行いましょう。

(2) 復習

- ① 読む : 教科書やノートを見返す。
巻末の付録には、おもしろい数学話や小ネタがあります。
- ② 問題を解く。(その日、週末、テスト前の**反復学習!**)

2. 家庭学習の仕方



特に反復学習が大切!
では、何をすればよいの?

- ❶ **ワーク** (難易度別に分かれています。)
- ❷ 授業で配られた**プリント** (多めにもらう!)
- ❸ **教科書の章末問題**
- ❹ **単元テスト**、定期テストなどの解き直し
- ❺ それでも物足りないときは、**自分に合った問題集の購入**も OK
(塾や通信教材、本屋さんで購入した教材)

◎ 問題集 (ワーク) の解き方

- 1. 鉛筆で丁寧に。(途中式が必要なものはきちんとかく。)
 - 2. ○付けの仕方
 - 1回目: すべての問題を解く (赤ペンで○付け。)
 - 2回目: ミスした問題のみ解く (青ペンで○付け)
- ※テスト前に見直したときに、青いボールペンのところを中心に見直せる!
- ※ (1度目はノートに、2度目はワークに書き込むのも効果的です)

※「もう一度」の精神

- ・授業でわかったつもりでも、人の話を聞いてわかったのは、本当にわかっているとはいえない。家庭で、自力で「もう一度」、例題や問題を解こう!

3. eライブラリを使ってみよう



(1) 自由学習 → 自分で選ぶ → 単元から探す

- ① 解説: 読んで内容を理解する。② ドリル: 練習問題を解く。
- ③ テスト: まとめの問題を解く。

4. 単元テストや定期テストに向けた学習の仕方

- ・ワーク、教科書の章末問題、単元テストの間違が多い問題など

理科 Science

1. 授業の復習

- ① 学習した教科書・ノートのパージを**理解できるまで、何度も読み返す**そう。
- ② 教科書の太字の語句（重要語句）は、読んだりノートなどに書いて覚えよう。
- ③ 学習した内容、特に考察・実験方法を**説明できる**ようにしよう。
- ④ 授業でわからなかったことは、積極的に友達や先生に**質問**しよう。

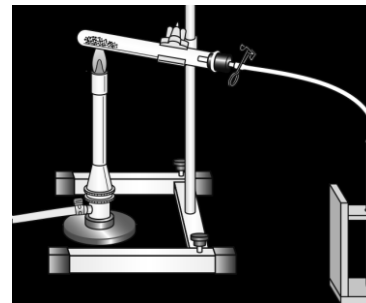
2. 家庭学習方法の例

- ①日頃からワークを活用し、復習をしよう。
 - ②ノートはテスト範囲が確定したらざっと見直しましょう。
 - ③ワーク等、問題集に取り組みましょう。全然解らない問題も必ず答えを埋めてください。正解は○，間違えたところには×をつけます。採点したら間違えた問題の解説を読んでください。
 - ④また問題集を解きます。問題集の前回×だったところを再び解いてください。
 - ⑤もう一度問題集を解きます。やはり問題集の前回×だったところを解いてください。解いたら同じように採点し解説を読んでください。
- ※ それでもわからない場合は、授業のノート写すことが有効です。

3. eライブラリを使ってみよう

自由学習→**自分で選ぶ**→**単元から探す**

- ① 解説：読んで内容を理解しよう。
- ② ドリル：練習問題を解いてみよう。
- ③ テスト：まとめの問題を解いてみよう。



4. 定期テストに向けた学習の仕方

- ①テストには授業で習ったところを中心に問題が出ます。
問題に慣れる必要があります。実践的な練習をしましょう。
- ②問題集を解けばどこがどんな風に出るのかわかるようになります。
教科書に書いてあることを全部覚えようとするのではなく、何をどんな風に覚えればテストで点が取れるかを知り、効率良く覚える必要があります。その方法は「先生が強調したところを聞いてノートに取る こと」と「問題集を解くこと」です。
- ③問題集を繰り返し解けば自分の弱点がわかるようになります。
たくさん問題を解いて弱点を知り、それを克服しましょう。

社会 Social Studies

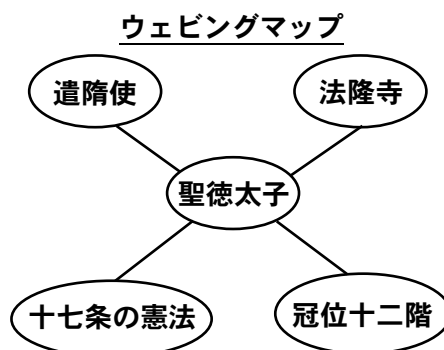
1. 授業の復習

- ① 学習した教科書・ノートのパージを**理解できるまで、何度も読み返す。**
(重要語句や内容、資料を確認！ 読めない漢字にはフリガナを振る)
- ② 教科書の太字の語句(重要語句)は、ノートなどに**書いて覚える。**
(「防人」「国際連合」などの、漢字5字以下の語句は、テストでは「**漢字で書きなさい**」と指定されることがあります！)
- ③ 学習した内容を、友達や家族に**説明できる**ようにする。
- ④ 授業でわからなかったことは、積極的に**先生に質問する！**

2. eライブラリを使ってみよう

自由学習→**自分で選ぶ**→**単元から探す**

- ① 解説：読んで内容を理解する。
- ② ドリル：練習問題を解く。
- ③ テスト：まとめの問題を解く。



3. 単元テストに向けた学習の仕方

- ① 学習した教科書・ノートのパージを理解できるまで、何度も読み返す。
- ② 学習した内容を、友達や家族に**説明できる**ようにする。
- ③ 教科書の太字の語句(重要語句)は、ノートなどに書いて覚える。
- ④ 教科書・ノートの地図や表、グラフなどを、何度も確認する。
- ⑤ 教科書の「学習のまとめと表現」の問題を解く。
- ⑥ **ウェビングマップ**(関連する語句を線で結ぶ学習方法)を活用して、学習内容を整理する。

4. 定期テストに向けた学習の仕方

- ① 単元テストの復習(間違えた問題を答えを見ないで解けるようにする)
 - ② ニュースや新聞を日常的にチェックする。
- ※ あとは、単元テストに向けた学習の仕方と同じです。

5. 社会の学習で大切なことは？

「こんなにたくさん覚えられない！」と社会科を苦手を感じている人も多いと思います。しかし、「好きな漫画・ドラマの登場人物」「好きなゲームの攻略法」なら完璧に覚えているのではないのでしょうか。社会を得意になる最短ルートは、「**いろいろなことに興味をもって、好きになること**」です。未知への探求心を育みましょう！

英語 English

1. 普段の予習・復習

(1) 予習

- ① 単語： 教科書の巻末資料を見て、単語の意味を調べてノートに書く。
- ② 本文： 教科書の本文をノートに写す。
- ③ 聞く： 「デジタル教科書」や「QRコード」を利用して、音声を聞く。
- ④ 読む： 音声を聞いて、後に続いて読む。

(2) 復習

- ① ワーク： その日学習した文法について、ワークの問題を解く。
- ② 音読： 教科書本文の音読を練習し、すらすら読めるようにする。
目標は5回！
- ③ 暗記： 教科書本文を暗記するまで繰り返し音読練習する。
- ④ 書く： 暗記した教科書本文を、ノートに書く。
単語が正確に書けているか教科書を見て確かめる。

2. eライブラリを使ってみよう

(1) 自由学習→自分で選ぶ→単元から探す

- ① 解説：読んで内容を理解する。
- ② ドリル：練習問題を解く。
- ③ テスト：まとめの問題を解く。
- ④ いろいろカード帳：単語の練習。 ※④がないこともあります。

(2) ライブラリ（トップ画面の一番下にあります。）



- ① いろいろカード帳：単語の意味や発音を確認して、単語力をつける。
- ② 英語ゴー！ゴー！サンセットタウン：登場人物の話す英語を聞いてリスニング力をつける。
- ③ 英会話教材（1年生向け）：英文を聞いて、自分でも発音してみよう。すらすら言えるようになったら、暗記してノートに見ないで書いてみよう。

3. 単元テストに向けた学習の仕方

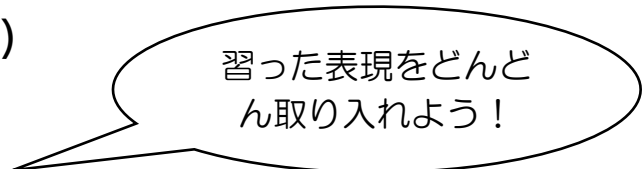
- (1) ワーク：間違えた問題を答えを見ないで解けるようにする。
- (2) Scenes：巻末資料「Scenes のまとめ」の日本語の意味を見て、英語に直せるようにする。
- (3) 音読：教科書に出てくる単語や文を覚えるのに有効。
- (4) 単語：正しく書けるように練習する。New Words の太字や連語の意味を確認する。

4. 定期テストに向けた学習の仕方

- (1) 単元テスト復習：間違えた問題を答えを見ないで解けるようにする。
※ あとは、単元テストに向けた学習の仕方と同じです。

5. 英文3行日記(1 学年 3 月から)

- (1) 日付、曜日を書く。
- (2) 天気について1行。
- (3) 自分のしたことを1行。自分の気持ちを1行。



習った表現をどんどん取り入れよう！

